

NMSH Topics 23

VOL.

November 2018

今月の 院長のイチオシ

リハビリテーション科

多くの診療科からのコンサルテーション実績と密な連携が強み

リハビリテーションセンターが新しくオープン

リハビリテーション科では脳卒中、脳外傷などの脳疾患、骨折、変形性関節症などの骨関節疾患だけでなく、脊髄損傷や神経変性疾患、心臓疾患、呼吸器疾患、がん、廃用症候群など多岐に及ぶ領域のリハビリテーション治療を行っております。

特徴は「急性期リハビリテーション」に力を入れていることといえます。救急搬送や手術のあと出来るだけ早期に主治医からコンサルテーションいただき、廃用を起こすことなく日常生活動作(ADL)の再獲得に至るよう日々努力しております。短期間であっても早期からリハビリテーションを導入することが長期的なアウトカムを良くすることが知られていますので、主診療科と連携して全身を診ながら幅広い疾患においてさまざまな方法で機能回復を図るよう心がけております。

最近では誤嚥性肺炎やがんの患者さんのコンサル

テーションが増えています。嚥下障害に対しては、嚥下造影検査などにより嚥下機能の精査を行い、適切な食事形態の指導を実施しています。また、がんに対しては出来るだけ術前からリハビリテーションを導入し術後成績に貢献しています。

当院では患者さんが転院されるケースが多いことから、転院先のリハビリテーション病院と情報共有を行いシームレスな治療継続ができるような体制をとっております。

定期的に関連施設との勉強会を開催し、リハビリテーションロボットや電気刺激療法など最先端の治療の発信も行っています。さらにリハビリテーションセンターが10月に新しくオープン。これまで以上にリハビリテーション治療の充実にあたっていきますので、お困りの患者さんがおられましたらぜひご紹介ください。



左：各専門職が協力してリハビリテーションを実施している
右：東館に新しくオープンするリハビリテーションセンター

